

第9期の事業報告

1. 事業報告

(1) 資格・検定

- ・ジェネラルCFO資格、グローバルCFO資格の認定要件を変更し、ジェネラルCFO資格は会計専門職大学院、ファイナンス専門大学院等日本CFO協会が認める経営財務分野の大学院課程の修了、グローバルCFO資格はグローバルCFO(米国CTP)試験の合格の他、米国CPA、米国CMAの合格者を認定要件とすることに致しました。
- ・CFO資格の受験者数は、グローバルCFOが24人、プロフェッショナルCFOが226人となりました。
- ・経理・財務スキル検定(FASS)検定、およびグローバルCFO(CTP)資格試験につきまして、昨年度から毎日受験できるように運営を変更致しました。
- ・経済産業省より「経理・財務サービス・スキルスタンダード」に準拠した検定として開発を受託した「経理・財務スキル検定(FASS)」の受験者数は、4,692人となり、受験者数の累計は、16,825人となりました。
- ・経済産業省より、「経理・財務SS2.0能力評価制度開発プロジェクト」を受託し、内部統制分野における能力評価制度の実証実験を行いました(このプロジェクトは、NTTビジネスアソシエ、プロティビティ・ジャパンとのコンソーシアムにより受託致しました)。

(2) 教育・啓蒙

- ・会員に対する最新情報の提供の場と致しまして、当期は特別号を含め計16回のCFOセミナーを開催し、社団法人金融財政事情研究会と共催のCFOフォーラム・ジャパンを12月に開催致しました。その他、経理・財務分野に特化したFASS検定の普及を目的としたFASSフォーラム・ジャパンを、株式会社税務研究会の後援を得て2回開催致しました。
- ・情報誌「CFOFORUM」は当期も季刊にて4回発行致しました。
- ・CFOセミナーの講演内容を収録した「オンライン・セミナー」を会員専用サイトにてオン・デマンド形式で配信することと致しました。

(3) 調査・研究

経営・財務分野のさまざまなベンチマーク情報を提供する目的で「財務マネジメント・サーベイ」を当期も4回実施致しました。また、日本を代表するCFOで組織する昼食会「CFOラウンドテーブル」を再組織することとなり、2月より2回開催致しました。また、経理・財務の中堅幹部を対象とした研究会を3回開催致しました。

(4) コミュニケーション

交流会「CFOExchange2008」を開催しました。また、会員相互の交流を目的としてCFOセミナーの終了後にワンコインバーを開催致しました。

(5) 会員数

個人会員の新規入会者数360人、法人会員の新規入会社数11社で、期末の会員数は個人会員が2,698人(前期比4.4%増)、法人会員が126社(前期比16.5%減)となりました。

2. 第10期の活動

第10期におきましても、より一層の会員サービスの充実を目的として、資格認定、教育、調査研究、コミュニケーションそれぞれの事業分野において、引き続き従来の活動を継続して質の向上に努めていきます。

特に、経理・財務スキル検定(FASS)に加えて、経理・財務ベーシック検定(FASSベーシック)を新しい検定試験として導入致します。

以上